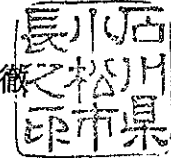


土木第186号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

小松市長 西村 徹



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありましたこのことについて、別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

石川県小松市

○ 現状

道路は市民生活や経済活動を支える最も基本的なインフラであり、その整備は長年にわたり要望を行なっているが、特に地方においては、幹線、補助幹線を含め十分な整備に到っていない現状である。

又、厳しい地方財政状況の中で必要な財源の確保が困難な状況である。

○ 課題

税制改革による道路特定財源の一般財源化により、地方財政に影響を及ぼさないよう必要な財源を確保するとともに、地方の配分割合を高め、更に補助率の見直しを行ない、安定的、計画的に道路整備が行なえるよう制度の拡充を行なう必要がある。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②－１ 地域の現状と抱える課題

石川県小松市

○ 現状 本市は、繊維や世界的な機械関連企業を中心として発展してきた北陸を代表する産業都市である。歴史と伝統ある文化、豊かな自然環境、緑あふれる中山間地、空港・高速道路・ＪＲの高速交通ネットワークなど恵まれた地域の資源が数多くある。こうした小松の魅力をアピールするとともに、新たな観光資源を発掘・開発していく必要がある。	○ 課題 小松空港、ＪＲ、北陸自動車道の高速交通ネットワークの利点を生かすためには、東海北陸自動車道、中部縦貫自動車道等東西方向の交通アクセスの強化により産業・観光の交流人口の拡大を計る必要がある。
--	---

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

②—2 地域の目指すべき将来像

石川県小松市

小松空港、J R、北陸自動車道の高速交通ネットワークの利点を生かすため、東海北陸自動車道、中部縦貫自動車道等東西方向の交通アクセスの強化により産業・観光の交流人口の拡大を計り、ひと、まち、みどりが輝くこまつを目指すことが大きな目標である。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価)

石川県小松市

○ 重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 地域活力の向上 ・ 都市交通の快適性、利便性の向上	・ 小松白川連絡道路(国道360号)のルート帯の早期決定と未整備区間の事業着手 ・ 国道416号(小松勝山間)の整備促進 ・ 国道8号の早期4車線化の整備促進	・ 北陸と信州・東海間のアクセス向上により、人と物の流通面で効率化が実現し、地域経済が活性化する。 ・ 広域幹線道路であり、福井県と小松市のアクセス道路として、安全性の向上とスキー場等観光振興に寄与する。 ・ 小松市街地の渋滞緩和、小松市内の観光地・商業地へのアクセス向上	

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価)

石川県小松市

○ 重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 社会すべての人のためのユニバーサルデザイン社会の形成 ・ 計画的・効率的な維持管理や更新の推進		・ 障害のある人のための特別なデザイン対策でなく、社会すべての人が利用できるユニバーサルデザインによる、人に優しい道路環境に寄与する。 ・ 特に、橋梁、トンネルなど大規模構造物の維持・補修事業の補助対象事業への拡充強化を図ることにより、適正な管理を行い長寿命化によるサイクルコストの縮減に寄与する。	